

家の外にも自分の居場所があることが嬉しいです

僕は中学1年で不登校になってから30年近く、ほとんど外に出ないような生活をしていました。勉強もしていなかったし、社会との関わりもなく、外には全く居場所がありませんでした。

「このまま引きこもっていたらあかん」という思いがあり、社会や人と関わるきっかけを探していたとき、インターネットで見つけたのが「まなみえ」でした。「まなみえ」に参加することは不安だけでした。だけど今は、他の人たちと勉強でき、家の外にも自分の居場所があることが嬉しいです。

4月から四葉ヶ咲中学校に通うことは、もう一度チャレンジを始める気持ちです。僕は毎日家を出て学校に通うことに不安はありますが、学校にちゃんと通うことを実現したいです。今は、「まなみえ」に通った2年間があるから何とか大丈夫かなと思えるようになりました。



私たちが学ばせてもらっているんです

担任の宮本さんに
聞きました



初めはみんな緊張して顔がこわばり、話しかけても言葉は返ってきませんでした。でも、「まなみえ」で過ごすうちに、表情が和らぎ、自分から仲間に話しかけるようになってきました。前年から参加しているメンバーは、自分から後輩に関わっていきます。それに、四葉ヶ咲中学校のPRイベントに自ら参加し、一般の人にも話しかけています。そんな姿は、1年前、2年前には想像がつかなかったものです。そういう姿を見るのが担任の私にとって何よりの楽しみです。

キラキラした目で食い入るように授業を受けるみんなの姿を見ると、私も頑張ろうという思いになります。参加者の皆さんから、「まなみえ」に関わる私たちが学ばせてもらっているのです。

三重県教育委員会の
中西さんに聞きました



「もっと学びたい」という思いを実現する 学校を生徒と共につくりたい

これまで「まなみえ」に参加した人たちは、共に学ぶ中で、互いに声をかけ合い、仲間とのつながりを築いていったように感じます。そして、学ぶことを通し、自分がやりたいことを見つけたり、将来への展望を持ったりした参加者もいます。学びや経験を通して参加者に芽生えた「もっと学びたい」「もっとやってみたい」という思いは、「四葉ヶ咲中学校で学びたい」という思いへとつながっています。次年度からは、四葉ヶ咲中学校で学ぶ一人一人が、自分の願いや夢を見つけ、実現を目指して学び続けられる学校を生徒と共につくっていきたいと思います。

★ 取材者の感想 ★

「まなみえ」で学ぶ参加者の表情には、学ぶことへの喜びがあふれていました。また、学ぶことに対する思いや願い、そして、その背景にあるさまざまな経験も聞かせていただき、学ぶことは楽しいこと、そして、学ぶことは自分の生き方につながると教えてもらったように思います。誰もが「学びたい」という思いをかなえられる社会は、誰もが自分らしい生き方ができる社会ではないか。そのようなことを私自身が考えさせてもらうきっかけとなりました。